

平成26年度開成町民活動応援事業活動報告会

平成26年度に助成を受けた10団体による活動報告会が、平成27年3月28日（土）、開成町民センターで開催されました。

当日は、活動の成果について各団体より報告が行われ、団体相互での意見交換や団体の今後に関する質疑、アドバイスが積極的に出されました。

報告の中では、助成を受けた団体間での交流事業が行われたことや、今後の展開において共同事業実施の話し合いがもたれるなど、町民活動応援事業を機会に、これまでの自主事業から新たな横の繋がりが作られました。

○審査員講評

- ① 審査の段階では事業実施に懸念されるところもあったが、今日の報告を伺って、全体的にステップアップしていると感じた。町のスローガンである「元気・きれい・健康」に沿ったテーマで様々な活動が色々な工夫をされながら行われている。皆さんは家庭等で色々な仕事もある中でこのような活動を実施し、地域を支えてもらっていることに大変感謝します。個々のテーマについては省略するが、現在進めている、皆さんの活動が地域に根差して長く続くことが、町の協働推進に結びつくと考えられる。そういう意味でますますこうした活動が活発になることを期待しています。
- ② 具体的な例として、託児ボランティア「こあらっこ」は、ひじょうに頑張りが見られた。「年間の実施回数が少ないのでは」といった意見もあったが、これまで依頼されたところから年度当初に計画をいただいて、その計画を基に予定を建てれば、さらに活動の機会が増えるのではと感じた。
また、おたっしや会の活動は、大変積極的に行われていると感じた。世間一般では、ボランティアな活動をする人が減ってきている。自身に関する事、例えば子どもの学校の役員などに関するボランティアな活動は減っていないが、不特定多数の方に対するボランティア活動というのは減っているといわれている。そのような中で皆さんが開成町のために頑張っていることにすごく感銘を受けた。
- ③ 今年度は、今までの課題であった連携事業を行う団体が見受けられたので、とても成果が出たと思う。また、2年ないし3年間継続して実施している団体では、町民活動応援事業の助成金をもとに、インプットとして、知識や材料、道具等を得て、アウトプットとして、普及や啓蒙などをだんだんに広げていかれている。そのバランスが徐々にステップアップしていくということが本当に目に見えたので、この事業の成果であると思う。これからも、参加される方がたの笑顔と、ご自分の充実感のために、活動を進めていただきたいと思います。
- ④ 全体的に、10団体から報告いただいた中では、各審査員の評価にもあったように、制度をスタートした当初から比べると随分と色々な形の工夫が見られ、事業展開が活発化してきたと思う。

各団体の活動の中身そのものはそのように変化しているので、ぜひそれをつなげて、そのような接点みたいなものがこれからは必要であると思う。

また、それぞれの活動を広めていくことは、それぞれの団体で悩みの一つとしてあると思われる。普段から各団体の方が立ち寄って情報交換したり、情報提供したりできる場所が必要であり、他の市町では、そのようなサポートセンターが備わっているところがある。今後、役場庁舎の建替えも予定しており、新しい庁舎建設の際は、そのような場所を確保したいと考えている。

活動拠点のような場が確保できた段階では、交流したり、横のつながりや広がりなどが形成されると考えられるので、例えば機関紙を発行したりすれば、さらに町民にも広まっていくと思う。